



その名はカメ太郎

昨日の全校集会で、生徒会から詫間中学校マスコットキャラクターが発表されました。応募総数135点の中から、島本恵里さんの案が採用されました。浦島伝説をモチーフにしたもので、ゆっくりでもいいから自分のペースで確実に進んでいける詫中でありたいという願いが込められています。

今後、いろんなところでカメ太郎が登場します。カメ太郎は、世界にたった一つしかない、詫間中学校だけのものです。私たちの仲間の一人として、大切に育てていってほしいと思います。



全校集会から

交通指導員感謝の集い

毎朝、私たちの安全を見守ってくださっている交通指導員さんに対する感謝の気持ちを伝えるための集いを開催しました。交通指導員は、横山茂樹さん、富田友良さん、真鍋章憲さん、高木光さん、渡辺省三さん、河田光治さん、前川光壽さん、石川勝さん、大坪隆さん、岡田正昭さんの10名で、そのうち7名の方が出席されました。生徒会代表がお礼の言葉を述べ、記念品を贈呈した後、指導員を代表して横山さんからお話をいただきました。交通指導員はボランティアで行っていることや、横山さんは昭和57年から30年もの間、詫間中学校の校門で指導していますが、事故は1件も起こっていないことなどを紹介していただきました。引き続き、よろしくお願いいたします。



ボランティア感謝状贈呈

朝早くから「おはようございます」の音が響いています。校門であいさつボランティアをしている人たちで、詫間中学校の名物です。そして今回、この1年間で、たくさん参加してくれた人に、生徒会から感謝状が贈られました。良い伝統をこれからも引き継いでいってほしいと思います。



今日から3月になりました。1・2年生は24日の修了式までに学校に来るのは17日です。3年生は、高校受験の日を含めてもわずか10日です。今日は、3月12日の卒業式に向けての心構えについてお願いします。卒業式とはどんな意味を持った式なのかを理解して、卒業式を盛り上げてほしいと思います。

卒業式は、卒業生一人一人が中学校での勉強を修了したという証明書をもらう式典です。卒業証書には、「あなたは、中学校の課程を修め、その業を終えたことを証する」と書いてあります。本当は、この証明書がなければ、高校受験もできません。ですから、3年生は「卒業できる予定」で高校受験に臨んでいます。たとえ、高校受験に合格していても、「卒業した証明書」がもらえなければ高校へは行けません。そのため、卒業式とは言わず「卒業証書授与式」と言っています。3年生にとっては、大変重要な証明書を手渡してもらう式典なのです。1・2年生も、次は自分たちが卒業証書をもらう番だと心を引き締めて、卒業証書授与式を盛り上げてください。また、卒業式は、中学校生活で最も重要な式典です。ですから、先生方も、卒業生の皆さんに敬意を払って、格式の高い、式典用の服装で参加して式を盛り上げています。自分たちの卒業式である卒業生はもとより、在校生も、歌うところはしっかり声をだして歌い、姿勢を正すところは正し、厳粛な式典になるように協力してほしいと思います。保護者の方やたくさんの来賓の方に「素晴らしい卒業式であった」と言われるように、そして、何より、卒業生自身が「感動的で思い出に残る卒業式だった」と言える卒業証書授与式にしましょう。（※全校集会における校長先生の話から）